

## 第4次計画の体系図

計画の愛称:	<b>子ども読書プラン</b> 《いつも本をそばに ~本がはぐくむ 子どもの未来~》
テーマ:	

方向性:	子どもが読書の楽しさや知る喜びを実感することにより、自ら進んで読書に親しみ、心豊かに成長することをめざす
------	--

基本目標	施策	主な取組内容			
【基本目標①】 『さまざまな場面（機会）で読書と出会い、楽しむ 『幅広い環境づくり』』	(1)家庭で読書と 出会う環境づくり	①「ブックスタート」「セカンドブック」の継続	■家庭での読書がとぎれないよう、「ブックスタート」「セカンドブック」の継続		
		②保護者へのはたらきかけ	■読み聞かせのコツやおすすめの本のリスト等の紹介		
		③妊娠期からのきっかけづくり	■妊娠期からの読書の大切さを伝え、親しんでもらうための啓発		
		④家庭での読書時間の確保	■家族ぐるみで読書を楽しむ雰囲気づくり、ゲーム・インターネット等利用時間のルールづくり		
	(2)地域で読書に 親しむ環境づくり	①地域に本がある環境づくり	■地域で身近に読書に親しむ場の提供	■子どもの年齢や発達に応じたアドバイス	
	②放課後に本がある環境づくり	■子どもが本にふれる機会を増やす	■読書に親しむ環境を整える		
(3)保育所・幼稚園等 で読書に親しむ 環境づくり	①日常的な読み聞かせの継続	■子どもの成長に合わせた日常的な読み聞かせ			
	②絵本コーナーの充実	■一人ひとりの子どもに合わせて本が選べる絵本コーナーの充実			
	③保護者へのはたらきかけ	■定期的な絵本の貸出し	■読書習慣の大切さを伝える	【重点】	
(4)学校で読書を 定着させる環境 づくり	①司書教諭と学校司書の連携	■子どもの自主的な読書活動をさらに推進			
	②蔵書の更新	■計画的な蔵書の収集・更新			
	③本を手に取りやすい環境づくり	■親しみやすく利用しやすい図書館づくり			
	④読書活動の推進	■本と親しみ、読書習慣を身につける	■図書委員会が中心となったさまざまな読書活動の推進	【重点】	
	⑤市民に開かれた学校図書館づくり	■地域住民の学びの場づくり（学校図書館の開放）			
(5)市立図書館等 での環境づくり	①本と気持ちよく出会える場づくり	■来館しやすい雰囲気づくり			
	②児童書の収集・更新	■児童書の収集・更新	■調べ学習に活かせる資料の充実		
	③さまざまなイベントの展開	■さまざまな角度からの本との出会いの場を提供			
	④中・高校生へのはたらきかけ	■読書へのさらなる興味・関心を高める	■電子図書館サービスの利用促進	【重点】	
	⑤支援が必要な子どもへのサービスの充実	■布絵本や点字絵本、外国語絵本等の多様な資料の収集			
【基本目標②】 『さまざまな人（機関）との 『ネットワーク』との『共創』』	(1)家庭へのはたらき かけを強化	①保育所・幼稚園等から家庭へ	■読書に関するイベント情報等の提供		
		②読書ボランティアから家庭へ	■家庭や地域の中で本とふれあう機会をつくる		
		③学校から家庭へ	■家庭での読書の定着を図る		
		④市立図書館等から家庭へ	■子どもの読書に関する啓発冊子の作成	■身近に本と親しめるよう、読み聞かせ等の取組を推進	
	(2)保育所・幼稚園等 と読書ボランティアを つなぐ	①読書ボランティアとの連携	■保育所・幼稚園等と読書ボランティアの交流や連携		
(3)学校との連携を さらに推進	①読書ボランティアとの連携	■「朝の読書」や「おはなし会」を今後も継続	■保護者向けの啓発		
	②保育所・幼稚園等との連携	■子ども同士の交流をとおして、読書活動を広げる			
	③市立図書館等との連携	■学校からの要望を踏まえた貸出し	■見学やドリームズ等の受入れ	■市立図書館利用案内の配布	■パソコン端末を活用した電子図書館サービスの利用促進
	④その他の施設との連携	■高校生の読書活動を広げる、「学童保育所でのおはなし会」や高校生による読み聞かせ		【重点】	
(4)市立図書館等 との共創	①保育所・幼稚園等への支援	■読書活動に関する情報の提供			
	②読書ボランティアとの連携と支援	■「読書ボランティア交流会」や「地域文庫連絡会」等の充実	■活躍の場をさらに広げる	■子どもの読書活動に功績のある団体や人材を顕彰	
	③市立図書館と学校図書館の連携	■連携し情報交換等を積極的に行う		【重点】	
	④他の公共施設との連携	■各施設との相乗効果を意識したイベントや相互PR	■市立図書館との連携によるコーナーの充実	【重点】	
【基本目標③】 『さまざまな手段（手法）による 『新たな時代への対応』』	(1)新たな読書スタイル への対応	①電子図書館サービスの普及	■電子図書館サービスの充実	■電子図書館サービスの広報・周知	【重点】
	(2)魅力や情報の発信	①ホームページやSNS等の充実	■わかりやすく、親しみやすい情報提供	■市立図書館のSNSを開設	【重点】
		②広報紙・ポスターでPR強化	■おすすめの本の紹介やイベントのPR	■より伝わりやすい紙面づくり	
		③メディアへの情報提供	■各種メディアへの情報提供による魅力発信		
	(3)新たな人材の発掘・ 育成	①読書ボランティアの養成	■新しい人材の確保や担い手づくりを支援		【重点】
(4)資源をフルに 活かし、新たな連携	①大学との連携を促進	■大学のさまざまな知識や技術を活かす（官学連携イベント等）			
	②企業との連携促進	■市立図書館の「雑誌スポンサー制度」の拡充	■「社史」や「企業紹介パンフレット」等の収集		
(5)利用しやすい 図書館づくり	①「古賀の誇り」コーナーの充実	■郷土資料コーナーをさらに充実			
	②企画展示コーナーの充実	■子どもが読書に興味を持つような企画展示コーナーの充実			
	③子どもが気軽に利用できる図書館へ	■乳幼児が利用しやすい時間帯を設定する「赤ちゃんタイム」等の取組			
	④「こがめルーム」の活用	■おはなし会のほか、調べ学習や絵本を読み合えるスペースとして活用			